

ふれあいひろば

学校、家庭、地域で



みんなで朝ごはん!

地域の
みんなで
楽しく!

上板町「にじの会」

はぐくまれ、イキイキ



放課後子ども教室で!

徳島市「とみだアフタースクール」の様子



「徳島おやじ塾」で!

見つめよう! 家庭・地域のきずな

家庭における教育は、すべての教育の出発点であり、家庭のきずなは、常に子どもの心のよりどころです。そして、その家庭は、地域のきずなによって支えられます。地域の大人は、子どもたちを「地域の宝」として再認識し、地域でのさまざまな活動を通して、親、教師とともに、子どもたちの成長に積極的に関わっていくことが期待されています。

家庭、地域が、そのきずなを強めることによって教育力を高め、学校における教育と結ばれるとき、子どもたちの中に確実に「生きる力」が育まれます。

「生きる力」

- 基礎・基本を確実に身につけ、いかに社会が変化しようと、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力
- 自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性
- たくましく生きるための健康や体力 など

家庭・地域でできること

家庭で子どもたちが身につけたことは、生涯にわたって生き続けます！

家族のつながりを見つめよう！

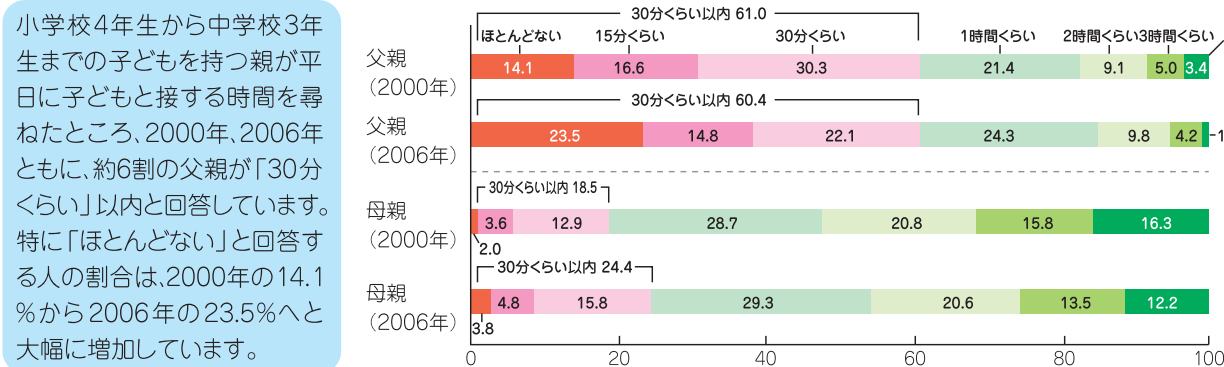
家庭での食事、団らん、余暇などの機会における家族との会話、ふれあいは、子どもたちが愛情やコミュニケーション力などを身につけ、成長していくために大切です。そして、家族のつながりは、子どもたちだけでなく、親にとっても特別なものであるはずです。

父親の役割について見つめよう！



ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）！
仕事中心の父親は、そのバランスを考え、もっと家庭の中で積極的な役割を果たしましょう。また、子育てについて夫婦で話し合う時間が増え、お互いの子育てに対する理解と協力が深まります。この理解と協力が、子どもの健やかな成長にとって大切です。

父親の4人に1人が平日ほとんど子どもと接しない — 平日に子どもと接する時間の割合 —



早寝 早起き 朝ごはん！

子どもの基本的な生活習慣の確立のため、家族一緒に生活リズムを見つめよう！

早寝早起きの習慣をつけ、十分な睡眠をとることは、子どもたちの健やかな成長や、生活リズムを確立するために大切です。また、朝食は一日のスタートです。朝食をとることによって、身体にエネルギーを補給し、集中力ややる気、体力を発揮・持続させ、一日の身体リズムを整えることができます。そして、規則正しい睡眠と、朝食を毎日食べている子どもほど、勉強や運動がよくできるというデータ（平成19年4月に行われた全国学力・生活習慣状況調査結果など）もあります。



家庭でのルールを見つめよう！

あいさつ、家に帰る時間、手伝いなどの生活上のルールをはじめ、他人に迷惑をかけないなどの道徳上のルール、そして、テレビの視聴時間や、携帯電話・インターネットの使用などについて、子どもと一緒に話し合ってください。そうすることで、子どもたちは社会規範意識を身につけていきます。

地域でのさまざまな体験活動が子どもたちの「生きる力」を伸ばします！

放課後子ども教室

安全・安心な環境のもと、異年齢の小学生たちが学習、遊び、読書、スポーツ、伝統芸能の継承などの多彩な活動を行っています！

「放課後子ども教室」は、地域の多くの大人が学習コーディネーター、安全管理員、昔遊び・伝統芸能等の指導者として関わり、その協力によって企画・運営されています。



三好市「西祖谷育成塾」の様子



鳴門市「ドイツ村冒険遊び場教室」の様子



那賀町「驚敷子どもクラブ」の様子

地域活動

藍住町で活動する「正法寺川を考える会」では、町内の小・中学生と大人が参加し、毎月、第二日曜日に、町内を流れる正法寺川の環境美化や環境学習に取り組んでいます！

地域の大人の知恵と力を結集し、大人も子どもたちと楽しみながら、子どもたちの「学び場」・「遊び場」を支え、「地域の宝」である子どもたちを育みましょう。



県教育委員会では、地域における教育活動を企画・運営することのできる「子どもの学び場づくりコーディネーター」の養成を行っています！

地域教育力再生事業では、「子どもの学び場づくりコーディネーター」が、学校、地域、行政等の協働を図り、地域教育活動を展開することによって、子どもたちが輝くまちづくりをめざしています。講義・ワークショップ・フィールドワーク・プレゼンテーションなどが、その養成講座の内容です。

子育てコーチング ⑤つの視点

ビジネスやスポーツの世界では、相手の力を引き出すコミュニケーションスタイルである「コーチング」が多く取り入れられています。「コーチング」は「指示・命令型」の指導ではなく、相手のもつ力を信じ、話を聴き、質問して相手の「気づき」と「力」を引き出すコミュニケーションスタイルです。親や教師、大人が「コーチング」の考えを取り入れることでさらに、子ども自身が自分の可能性に気づき、自ら考え、行動できる力を発揮することでしょう。

県教育委員会では、文部科学省委託事業の中で、子育てコーチングの考えなどを取り入れた家庭教育支援者養成事業「家庭教育コーチ養成講座」を開講しています。

point ①

「子どもはできる力をもっている」と腹の底から信じてみましょう！

コーチングは「相手の力を引き出す」コミュニケーションのスタイルです。「この子は力をもっている」と子どもを観ることから始まります。

point ②

子どもの「できないところ」より「できるところ」を見る目をもちましょう！

完璧な人は一人もいません。できないところを指摘する前に、できていることを強化しましょう。そこから自信が生まれます。その自信が生きてエネルギーになるのです。

point ③

あれこれ指示命令を出す前に、子どもの話にじっくり耳を傾けましょう！

「そうだったんだ」とうなずきながら聴くだけでいいのです。話をしっかり聴いてもらった子どもは、次の2つのことを手に入れます。『自分の話を聴いてもらい、自分は見守られていると安心する』『自分の気持ちを整理することができる』

point ④

「失敗」の体験を子どもから取り上げず、人生は自分次第であることを学ばせましょう！

自分の得た結果が、自分の行動が原因であることを知った子どもは、その原因となった自分の行動を変えようとし、決して人のせいにはせず、自分次第で手に入れる結果が変えられる経験をさせましょう。

point ⑤

誉めるときには「あなたメッセージ」でなく「私メッセージ」で伝えましょう！

「あなたはいい子ね」という誉め言葉には、子どもを操り人形にする危険性が潜んでいます。子どものことを誉めたいときには「手伝ってくれて、うれしいわ」「ありがとう助かったわ」と親の気持ちを言葉にする「私メッセージ」で伝えましょう。

徳島科学技術高等学校 平成21年4月開校

新しくできる総合型専門高校の校名は、県民の皆様から多数ご提案いただいた校名の中から「徳島県立徳島科学技術高等学校」と決定いたしました。

1 新校舎建設

平成19年8月23日、徳島科学技術高校の起工式が、徳島市北矢三町（現 徳島工業高校の校地）で行われ、現在、工事が進んでいます。



（完成予想図）

2 徳島科学技術高校とは

徳島科学技術高校は、徳島工業高校、徳島東工業高校及び水産高校を発展的に再編統合し、情報化などの様々な社会環境の変化や科学技術の高度化に対応できる人材を育成することを目指す新しいタイプの高校として、平成21年度の開校を予定しています。

全日制課程では、工業教育と水産教育を展開し、大学への進学を通して、将来の産業界を担う高度技術者の育成を目指す総合科学系に「総合科学類」・「海洋科学類」を、専門分野に関する基礎的な知識・技術を生かして、産業界で活躍できる実践技術者の育成を目指す総合技術系に「機械技術類」・「電気技術類」・「建設技術類」・「海洋技術類」をそれぞれ設置します。

また、定時制課程では、機械の構造を中心とした工業の基礎を学習する「機械類」と、建築・電気の基礎を学習し、専門の資格取得を目指す「工業技術類」を設置します。

3 学科編成

全日制

総合科学系
大学への進学を通して、将来の産業界を担う高度技術者の育成をめざす。

第1学年 第2・3学年
総合科学類 情報科学コース
環境科学コース
海洋科学類 海洋科学コース

総合技術系
専門分野に関する基礎的な知識・技術を生かして、産業界で活躍できる実践技術者の育成をめざす。

第1学年 第2・3学年
機械技術類 機械コース
生産システムコース
電気技術類 電気コース
情報通信コース
建設技術類 環境土木コース
建築コース
総合デザインコース
海洋技術類 海洋総合コース

定時制

工業科
工業の基礎を学習し、専門の資格取得をめざす。

第1学年 第2・3・4学年
機械類 機械コース
電気コース
工業技術類 建築コース

※生徒募集は類ごとに実施し、2学年から選択したコースに分かれます。

「中1ギャップ」の解消に向けて

中学1年生の時期は「新教科や教科担任制」、「部活動の開始」など、学習・生活環境の大きな変化により、「学業不振・学校不適応」といったいわゆる「中1ギャップ」が問題となっています。



小6と中1の国語科合同学習(佐那河内小・中)

県教育委員会では、小・中学校のよりスムーズな接続と連携による「小中一貫校の可能性」や『「中1ギャップ」の解消』についての先行研究に取り組んでいます。小・中学校教員の相互交流授業や合同学習、合同行事、さらには小学校高学年における教科担任制の拡大など、9年間を見通した教育課程や学習指導の研究により成果を上げています。

また、中学1年生に対するよりきめ細やかな対応の必要性が明らかになり、一人ひとりに目の行き届いた学習・生活指導をより行いやすくする「少人数学級」の導入が、生徒が有意義な中学生を送るための有効な手段だと考えられるようになりました。

このため、これまで小学1、2年生で実施してきた35人以下の「少人数学級編制」を、平成20年度から中学1年生へ導入拡大したいと考えています。

読書の生活化プロジェクト
1,000万冊読破達成!

徳島県教育委員会では、平成18年4月から、県内の幼稚園、小、中、高、特別支援学校の子どもたちと教職員が一体となって、3年間で1,000万冊の読破をめざす活動を推進してきました。各学校・園での熱心な読書活動の結果、平成19年12月に10,342,820冊となり予定より1年も早く目標を達成することができました。これは、平均すると1人が1カ月に約5冊の本を読んだことになります。

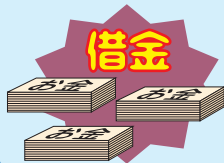


低学年・幼稚園への読み聞かせ
(三好市立馬路小学校)

この取り組みをきっかけとし、読書習慣の一層の定着と読解力等の育成をめざしたいと考えています。各ご家庭においても、読み聞かせや親子読書の機会を増やすなど、より一層のご協力をよろしくお願いします。

金融教育 クレジットカードの
●メリット ▲デメリット

- 現金を持ち歩かなくてもいい。
- 手持ちのお金がなくても欲しいものがすぐ買える。
- 利用額に応じてポイントが貯まる。(景品との交換等がある)
- ▲手元の現金が減らないので、使いすぎてしまう。
- ▲代金の支払い方法によっては、割高な手数料がかかる。
- ▲盗難などにあってしまうと、知らないうちに多額のお金を使われてしまう危険性がある。

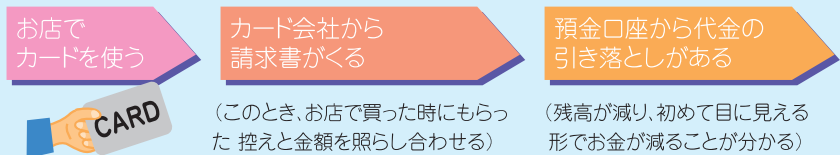


借金 クレジットカードの利用時には、お金の流れが見えないことから安易な活用が広がり、若者が多重債務に陥るといったトラブルが発生しています。

家庭でクレジット教育をしよう



クレジット利用後の流れを確かめましょう



使う場面だけでなく、この流れを子ども達に見せてあげることで、クレジットカードの仕組みが分かります。

家庭でお金の話をすることがクレジット教育の第1歩です。子ども達とお金の大切さを話し合ってください。

消費生活に関する相談は、**徳島県消費者情報センター**へ
相談電話:088-623-0110 悩んでないですぐ相談
HP:<http://www1.pref.tokushima.jp/shohi/> (メール相談はここから)



みんなで楽しむ行事一覧

◇印は、申込が必要です。☆印は、費用が必要です。
※1は、どの行事も小学生の参加は、保護者同伴を原則とします。

開催月	開催期間	行事名称	申込	費用	定員	開催場所	備考
3月	1日(土)	美術を楽しむ・わたくし流 音楽物語「アナトールXアトナール」		☆		近代美術館	
	1日(土)～2日(日)	君もトム・ソーヤ(1泊2日)	◇	☆	100	牟岐少年自然の家	参加費3,400円
	2日(日)	親子で楽しむ映画会				総合教育センター	10時と14時の2回上映
	2日(日)	ミクロの世界ー電子顕微鏡で昆虫を見よう②ー(午前の部)	◇		10	博物館	2/21㍻切(往復はがき)午前・午後の希望を書くこと ※1
	2日(日)	ミクロの世界ー電子顕微鏡で昆虫を見よう②ー(午後の部)	◇		10	博物館	2/21㍻切(往復はがき)午前・午後の希望を書くこと ※1
	8日(土)	あせび子ども邦楽教室	◇		10	総合教育センター	小学生対象 13:30～15:30
	8日(土)	勝瑞城シンポジウム～古建築の見どころ～ (平成19年度 勝瑞学アカデミー第4回講座)				藍住町コミュニティーセンター	13:00～16:00 問い合わせ先:県教育委員会文化財課 ☎088-621-3161
	9日(日)	おはなし会			35	図書館	
	9日(日)	ワークショップ「くもならべ-2」	◇		20	近代美術館	小学生以上対象、先着順
	13日(木)	おはなし会			35	図書館	
	15日(土)	こども鑑賞クラブ「IWANO MASAHITO 現代アートによる徳島再見」				近代美術館	小学生対象、保護者要観覧券
	16日(日)	古墳見学②	◇		40	徳島市渋野町(現地集合)	3/6㍻切(往復はがき) 渋野丸山古墳 ※1
	16日(日)	親子で楽しむ映画会				総合教育センター	10時と14時の2回上映
	22日(土)	あせび子ども邦楽教室	◇		10	総合教育センター	小学生対象 13:30～15:30
	23日(日)	おはなし会			35	図書館	
	30日(日)	伊島を歩こう	◇		20	阿南市伊島(現地集合)	3/20㍻切(往復はがき) ※1

「毎日古代体験」徳島県立埋蔵文化財センターで 毎日体験可能 勾玉作り体験・火起こし体験・縄文ポシェット作り・銅鐸ペーパークラフト作り

- 問い合わせ先
- 県立埋蔵文化財総合センター ☎088-672-4545
 - 県立総合教育センター ☎088-672-5400
- 県立図書館 ☎088-668-3500
 - 県立博物館 ☎088-668-3636
 - 県立近代美術館 ☎088-668-1088
- 県立二十一世紀館 ☎088-668-1111
 - 県立牟岐少年自然の家 ☎0884-72-2811

お知らせ

『教育通信ふれあいひろば』の内容が県教育委員会のホームページでご覧になれます。また、テキストファイルもありますのでご利用ください。
<http://www.pref.tokushima.jp/>